

原稿校了後の前兆変化について

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254
Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1996

No.1778 長期継続前兆現況報告 前兆継続中 前兆再検討 7月下旬迄安全

2008年07月初旬より8年に渡って継続出現している長期継続特殊地震前兆No.1778の続報現況報告です。

右図はNo.1778前兆の第16ステージと現在の第17ステージの前兆出現状況図です。

表題のとおり、本日7/15夕刻現在、CH21特異をはじめ、複数の観測装置に前兆が継続中です。このことから、前の情報を考えておりました7/20±の可能性は否定されます。

あらためて前兆出現状況を見直し、認識を修正させて戴きました。

各極大に対する初現は明確には識別できない様です。右認識が仮に正しい場合は、最終極大認識=6/15に対する前兆終息時期として7/20±が計算できます。7/20±に前兆が終息するか確認することが重要です。確認できない場合は更に再考予定。()で括ったものは、未確定です。

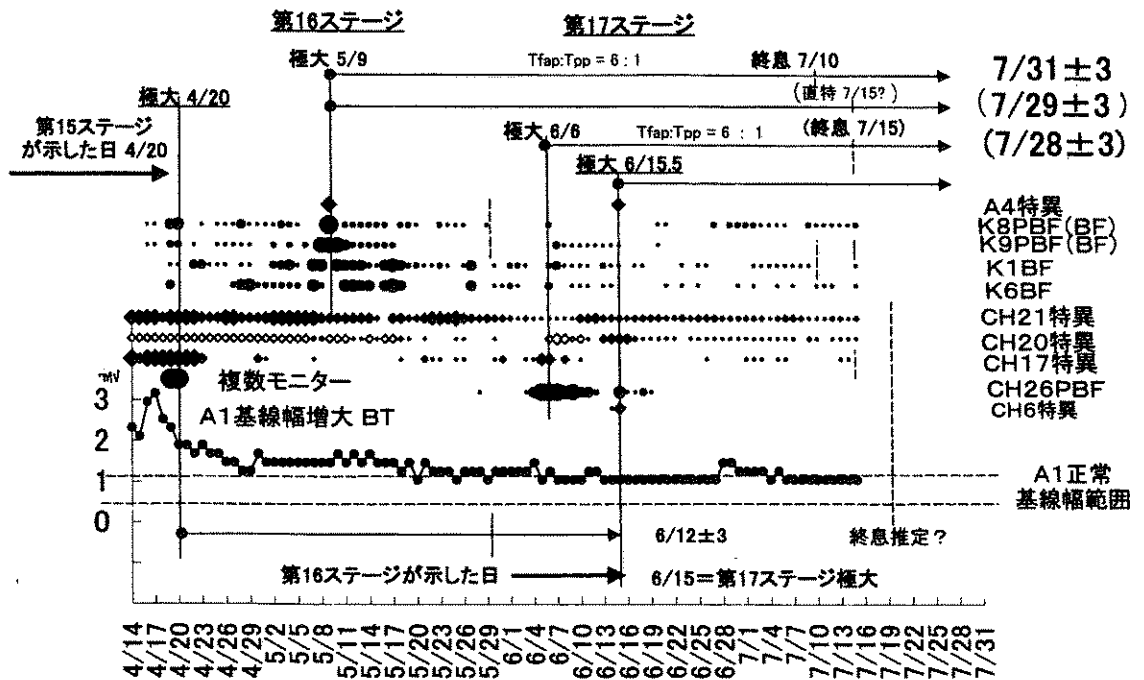
右図はNo.1778前兆と同一関連前兆の可能性と認識される火山帯近傍地殻地震前兆の出現状況図です。

火山帯近傍地殻地震前兆は、長野北部地震、熊本地震の前兆形態と同型の、通常の前兆とは異なる形態(変動波形)の前兆で、震源が極めて浅い地震の特有の前兆形態です。こちらを上のおりの認識をしますと、今月末±を示します。

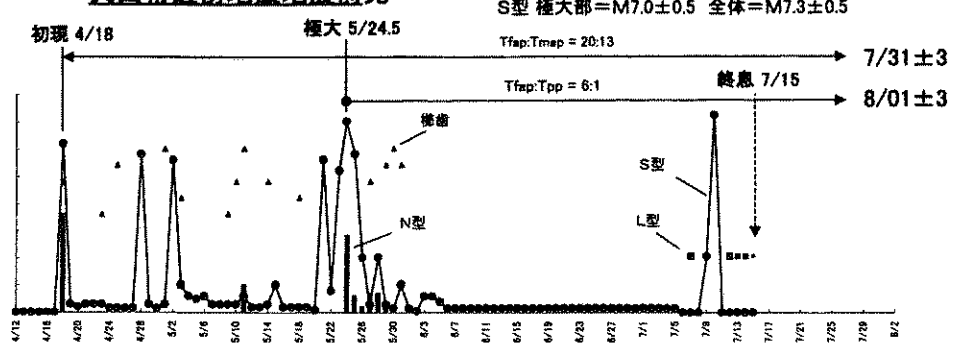
少なくとも今月下旬(7/27以前)迄に対応地震が発生する可能性は否定できる様です。現認識が正しいか、今後の前兆変化を観測し、検証し、確認したいと考えます。現状、これが最終段階である可能性が高いと云う見解です。

※他に大きな被害が推定される大型地震が推定される地震前兆、火山噴火前兆は観測されておりません。

No.1778 長期継続前兆 (第16・第17ステージ)



火山帯近傍地殻地震前兆



◆推定領域: 大枠推定域=点線内
可能性が考え易い推定領域=太線内
参考推定領域=斜線領域

◆推定規模: M7.8 ± 0.5

◆推定時期: 実際の前兆終息を観測して推定予定。但し7/20±前兆終息の場合=7/31±3

◇推定地震種: 震源浅い陸域地殻地震

◇推定発生時刻: 午前9時±1 (又は午後6時±3)

